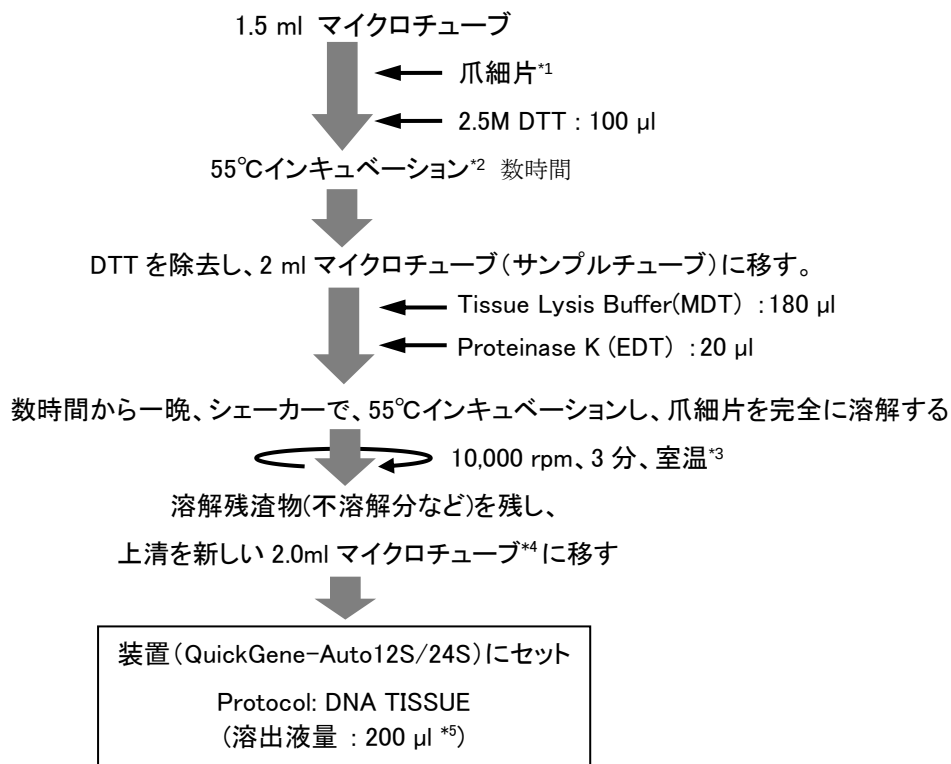


DA-c-7

自動処理_爪からのゲノム DNA 分離

プロトコル



*サンプルチューブのセット方法については、

Quick Start Guide または取扱説明書を参照してください。

1. Pre-Heating (3 分間)
2. 180 μ l の Lysis Buffer(LDT) を添加
3. ピペッティングにより攪拌
4. インキュベーション(60°C, 5 分間)
5. ライセートを移液後、240 μ l のエタノール (>99%)と混合
6. ピペッティングにより攪拌
7. ライセートをカートリッジにアプライ
8. 加圧
9. Wash Buffer(WDB)で 3 回洗浄
10. 溶出液(CDT)を添加し、ゲノム DNA をコレクションチューブに回収

ゲノム DNA

*1 爪(5~10 mg)を 100% エタノールで洗浄。次に精製水で洗浄後、細かく切る。

*2 爪が透明化するまで行う。通常は 3~6 時間前後で透明化する。

*3 溶解残渣分(溶け残り、ゼラチン状)を分離除去するために遠心します。

*4 推奨のマイクロチューブ#BM4020(ビーエム機器器)#72.695.700 (SARSTEDT)
#72.695.500 (SARSTEDT)

*5 溶出量の容量は 50 μ l まで減らすことができますが、その場合、溶出効率が低下する可能性があります。

結果

ゲノム DNA の収量

サンプル ID	#1	#2	#3	#4	#5	#6
保存年間	10 年	9 年	8 年	9 年	3 年	3 年
収量(μg)	0.34	1.98	1.86	0.44	2.74	3.26

タンパク質の混入：A260/280

サンプル ID	#1	#2	#3	#4	#5	#6
A260/280	1.54	1.83	1.63	1.72	1.94	1.79

共通プロトコルサンプル